

もっと住みやすく働きやすい 那賀町を実現するDX戦略 -那賀町デジタル変革戦略-

2023年12月

那 賀 町

那賀町デジタル変革戦略

はじめに

人口減少・少子高齢化による労働力不足が進む状況において、地域の課題解決や住民・事業者の利便性、行政の生産性向上を達成するためには、デジタルの活用が欠かせません。本戦略は、システム化やデジタル化を進めるとともに、職員の意識や役場の業務も含めた改革にチャレンジし、実行するため「那賀町デジタル変革戦略」として策定するものです。

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、デジタル技術を駆使して人々の暮らしをよりよくすることですが、デジタルは手段に過ぎません。那賀町の将来を見据えながら、もっと住みやすく、働きやすい町の実現を第一に、デジタルを活用していきます。

最後に、DXを推進することは、特に医療・教育に有効であるほか、那賀町の魅力発信にも大いに役立つと考えています。国の施策や社会情勢の変化、デジタル技術の進展を注視し、民間との連携も図りながら、職員一丸となって本戦略を進めていきます。

2023年12月25日
那賀町長 橋本浩志

那賀町の強みと弱み(デジタル活用の背景)

- ✓ 「第2期那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載されている当町の強みと弱みを以下に示す。
- ✓ デジタルは地方の社会課題（人口減少、過疎化、産業空洞化等）を解決するための鍵となる（デジタル田園都市国家構想）。

強み

- 自然資源が豊富であり、農林産業が発展してきた。
- 地域社会への意識が強い。
- 無人航空機やICTの活用等、先駆的な取組がある。
- 観光施設の新設等、長期滞在圏域の整備が進行している。

弱み

- 若年層の町外転出に歯止めがきかない。
- 町域が広範囲なため地域格差が大きく、地理的連携が難しい。
- 自然減・社会減による人口減少が続いている。

デジタルの力により町の強みを最大化し、弱みも強みに変える好機と捉え、行動に移すことが求められる。

デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域ビジョンの例

- ✓ 「デジタル田園都市国家構想」に基づき、“全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会”を目指し、官民双方で地方におけるDXを積極的に推進している真っ只中にある。
- ✓ 同構想の実現に向けた地方における取組を促すため、地方がイメージしやすいビジョンの類型（スマートシティ・スーパーシティ、「デジ活」中山間地域、産学官協創都市、SDGs未来都市、脱炭素先行地域、MaaS実装地域）が提示されている。



出典：「「デジ活」中山間地域について（農林水産省）」

DXビジョン(実現したいこと)

理 念

デジタルと豊かな自然が調和した
「もっと住みやすい」「もっと働きやすい」那賀町に

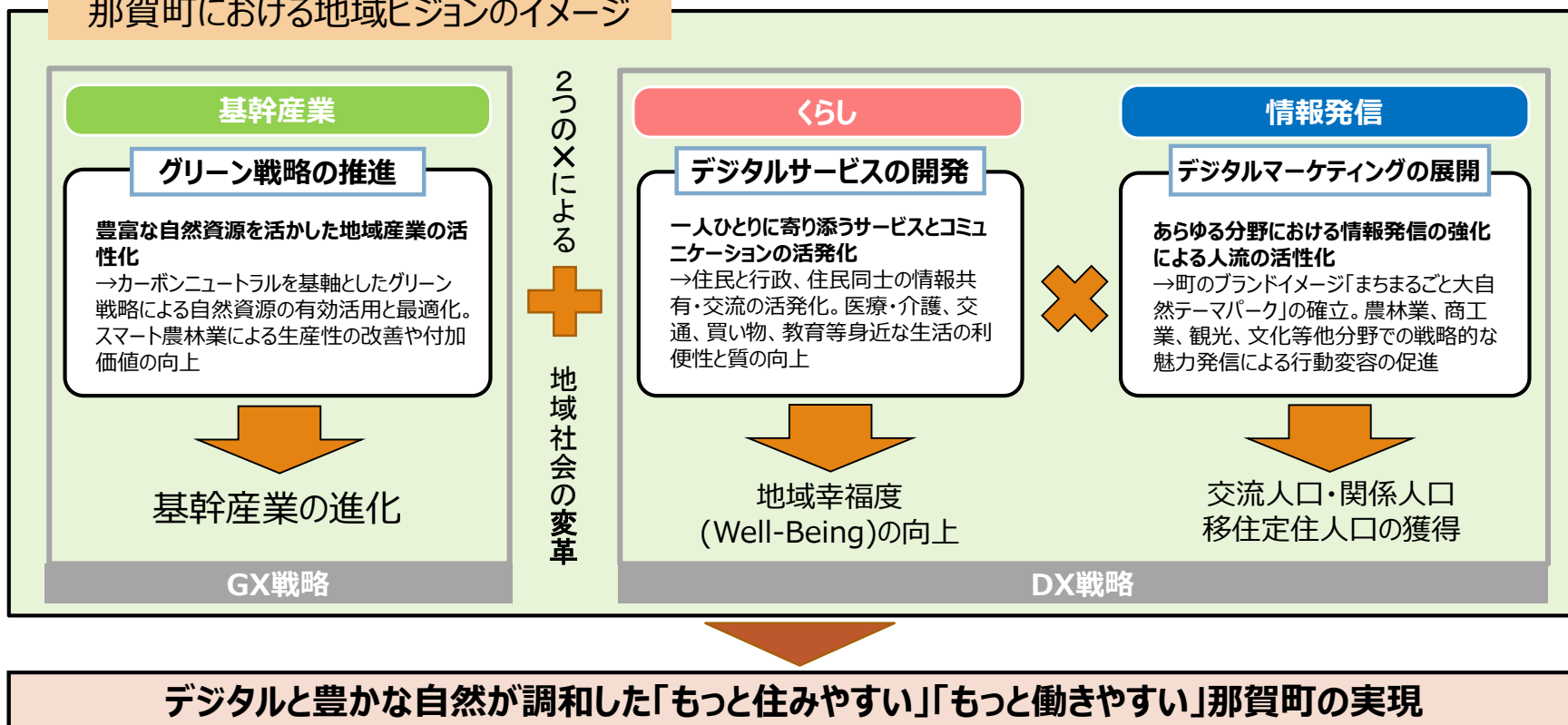


方 針

- ① 利便性を実感できる、住民視点の行政サービスを実現します
- ② デジタルと変革を組み合わせ、地域課題の解決と新しい価値の創造に取り組めます
- ③ 従来の思考にとらわれず、効率的で無駄のないスマート自治体を追求します

デジタルと自然が調和した緑豊かなスマート田園都市を目指して

那賀町における地域ビジョンのイメージ



デジタル活用により将来に実現したい地域像

- ✓ まずはデジタルに触れ、親しむことからスタートし、コミュニケーションを重ね住民同士・住民と役場の距離を縮めていく。
- ✓ 次に、課題解決や魅力向上につながる小さなプロジェクトを多様な主体が関わりあって実行していく。
- ✓ そこから段階的に対象地域やサービス内容を拡張しながら、多くの住民が効果を実感できるまちを目指していく。

- 急激な人口減少
- 一人暮らしの高齢者世帯の増加
- 若年層の町外転出
- 広大な町域と集落の散在

第1段階【デジタルでつながら、安全・安心】

年齢や身体、経済的制約の有無にかかわらず、誰もがデジタルを利用できる環境と、必要な情報を確実に届け、住民とつながるデジタルプラットフォームを整備し、誰一人取り残さない情報配信による安全安心を実現する。

第2段階【デジタルでより便利に、より暮らしやすく】

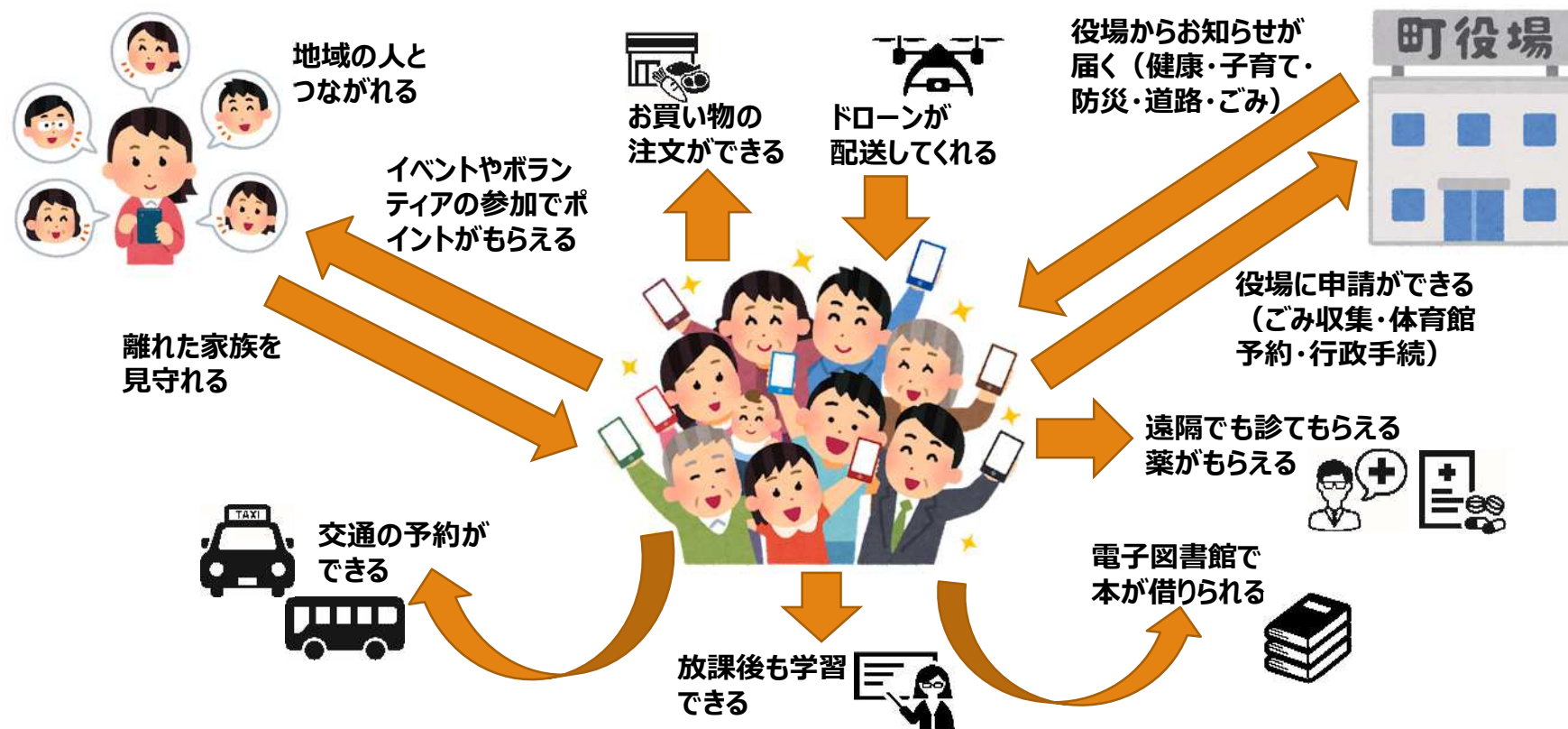
地理的ハンディキャップを乗り越え、医療・介護、交通、買い物、教育といった身近な生活に不自由がなく、便利で豊かな暮らしを実現する。

第3段階【デジタルでさらに広がるコミュニティ】

地域や世代の壁を越え、住民同士が能動的に交流し、助け合い、行政と積極的に連携して「地域の将来に可能性を感じる町」「住民それぞれが多様な幸せを実感できる町」を実現していく。

もっと住みやすい、働きやすい那賀町へ

デジタルでつながるみらいの姿(活用イメージ)



DX戦略3つの柱と1つの土台(施策体系)

デジタルで「もっと住みやすい」
「もっと働きやすい」

住民サービスのDX

- 行政手続きオンライン化の充実（スマホ役場窓口の設置）
- 住民票等のコンビニ交付の導入
- 窓口ワンストップ化の推進（総合窓口の導入）
- キャッシュレス決済の推進

地域社会のDX

- 町民ポータル等の開設（戦略的情報発信、広報のDX）
- 医療、教育、農林業のDX推進
- 地域交通のリ・デザイン（デマンド交通・MaaS）
- デジタルデバイド対策（スマホ教室・サポート窓口）

行政運営のDX

- 自治体情報システム（住基・税・福祉）の標準化対応
- 電子決裁（文書管理システム）の導入
- 生成AIを活用した業務処理の効率化

3つのDXを支えるBPR/EBPMの推進

- 業務の見直しによるノンコア業務の削減（住民に寄り添う業務の充実）【BPR】
- データに基づく政策立案、予算編成プロセスの確立【EBPM】

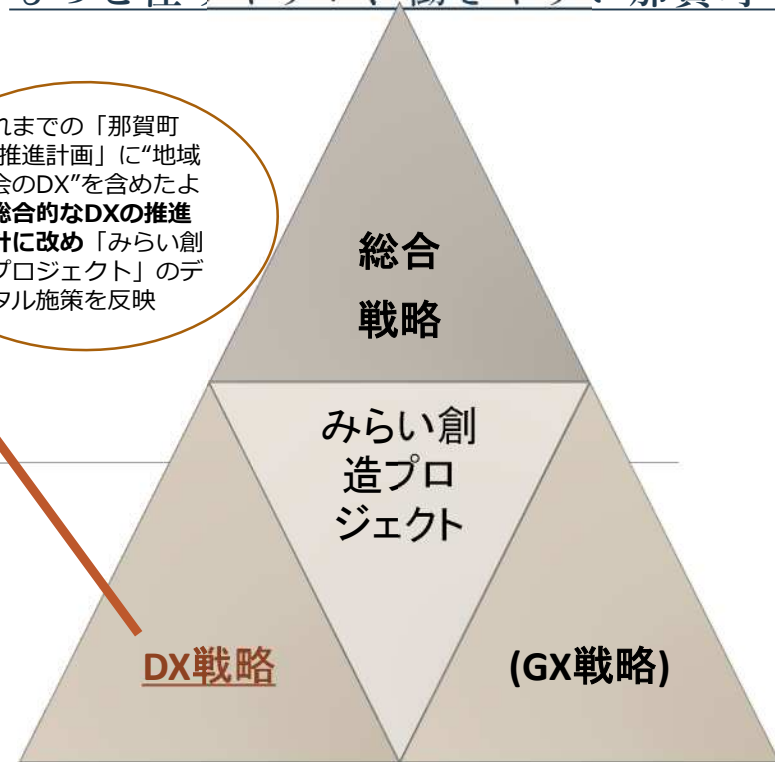
那賀町の戦略体系イメージ(位置づけ)

もっと住みやすい、働きやすい那賀町へ

【那賀町デジタル変革戦略】

理念	デジタルと自然が調和した「もっと住みやすい」「もっと働きやすい」那賀町に	
方針①	住民サービスのDX	住民視点の行政サービスの提供
方針②	地域社会のDX	地域課題の解決と新しい価値の創造
方針③	行政運営のDX	効率的なスマート自治体の追求

これまでの「那賀町DX推進計画」に“地域社会のDX”を含めたより総合的なDXの推進方針に改め「みらい創造プロジェクト」のデジタル施策を反映

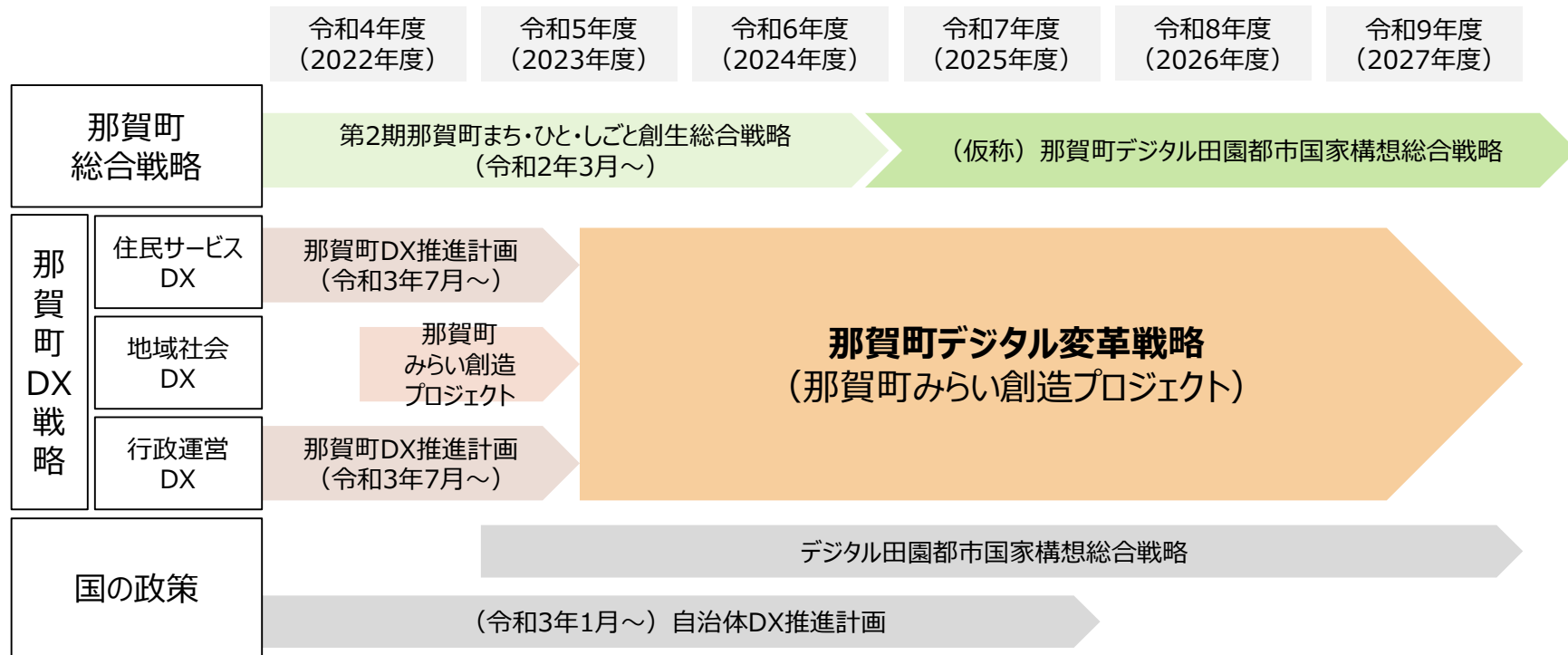


考慮  補助金・交付金活用

- ・デジタル田園都市国家構想基本方針
- ・デジタルガバメント実行計画/自治体DX推進計画

DX戦略推進期間

- ✓ DX戦略の推進期間は、令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)の間とする。
- ✓ 内外の環境の変化や技術革新の動向、DX戦略の進捗状況を鑑み、適宜見直しながらプロジェクトを可変的に実行する。



那賀町デジタル変革戦略

DX戦略プロジェクト(2023-2024年度)

ユニット	プロジェクト(取組と目的)※	ユニット責任者	主な関係部署等
住民サービスDX	<ul style="list-style-type: none"> ・住民票等のコンビニ交付サービスの導入 ・ワンストップ窓口(総合窓口)の導入検討 → わかりやすく、やさしい窓口の実現	住民課長	住民課、税務保険課、すこやか子育て課、保健医療福祉課、保健センター、各支所、情報政策室
地域社会DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル(CMSの再構築) ・町民ポータル、公式LINEアカウント開設 ・デジタルデバйд対策(スマホ教室)の実施 → 戦略的な情報発信、オンラインサービスの充実	みらいデジタル課長	みらい創造プロジェクト(みらいデジタル課)、ケーブルテレビ課
行政運営DX	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体情報システムの標準化対応 ・内部系システムの最適化(文書管理システム・電子決裁の導入、契約管理システム・グループウェアの更改) ・生成AIの業務活用 → システム最適化と事務効率化の推進	ケーブルテレビ課長	情報政策室、住民課、税務保険課、すこやか子育て課、保健医療福祉課、保健センター、各支所、総務課、検査室
業務改革推進チーム (BPR/EBPM ・デジタル人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善支援プラットフォームの導入 ・BIツール等EBPMの導入検討 → ノンコア業務の削減とデータに基づく政策運営 <ul style="list-style-type: none"> ・業務可視化、BPRワークショップの実施 ・デジタルマーケティング研修の実施 → 自律・共創できるデジタル人材の育成・確保	総務課長	総務課、みらいデジタル課、にぎわい推進課、情報政策室

※ 各ユニット責任者の下、それぞれの取組にプロジェクトリーダーを設ける(地域社会DXユニットは「みらい創造プロジェクト」により進行)。

デジタルデバイス対策の考え方

- ✓ 地域、年齢等による格差がなくなり、個々の多様なニーズ、潜在的なニーズに対して、きめ細かな対応が可能なデジタル社会を目指す。
- ✓ そのためには、住民が等しくデジタルサービスを楽しむことができるよう、行政がデジタルデバイスの所有と利活用を支援する必要がある。

メディア ／ 対象者(シーン)	音声ベース (プッシュ型)	映像ベース (プル型)	スマホアプリ SNS等 (プッシュ型)
情報弱者 (通信未利用者)	音声告知 放送	L字放送 文字放送	対策・支援
一般住民 (通信利用者)			
屋外外出・作業中 (町内)	防災無線	×	スマートフォン タブレット
外出(町外)	×	×	

計画的・段階的に集約

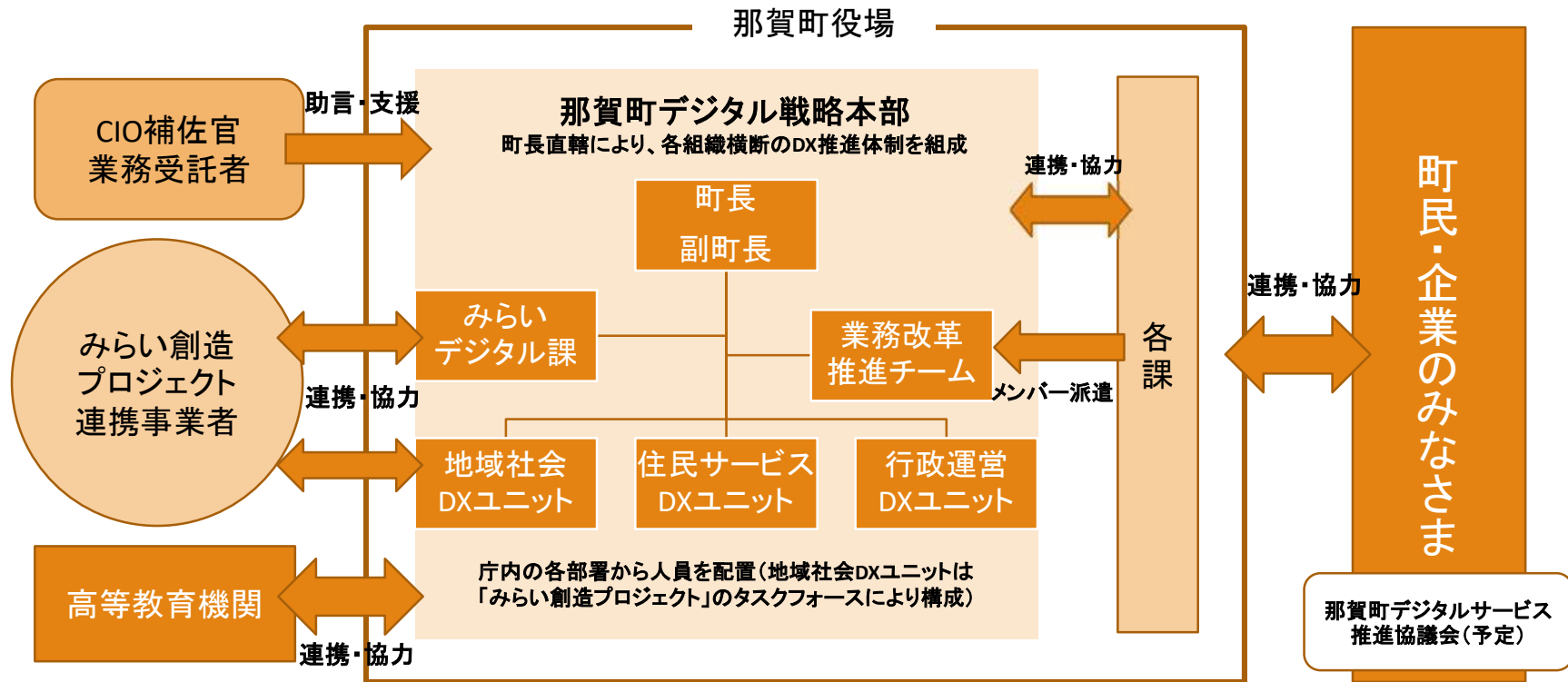
- 【対策の例】
- スマホ教室の開催
 - サポート窓口の開設
 - スマホ購入補助
 - タブレット貸付

住民と役場
をつなぐ町民
ポータル(プ
ラットフォー
ム)の提供



誰一人取り残されない
デジタル社会の実現

DX戦略推進体制(産官学民共創の仕組み)



那賀町デジタル変革戦略

那賀町みらいデジタル課

TEL 0884-62-1184

Mail mira-digi@naka.i-tokushima.jp

〒771-5295 徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川104番地1

那賀町デジタル変革戦略